

県民の皆さんの思いや夢をかたちにする一年に

新年を迎えるにあたり、「人に生きがい」「産業に活力を」「暮らしに潤いを」の3つの方向性を定め、県政のかじ取りを行っている中村知事に、今の思いを聞きました。



長崎県知事 中村 法道

主な出来事など

- 1 世界遺産委員会において各国からの祝福に応える中村知事
- 2 県内各地が世界遺産登録決定の瞬間、喜びに包まれた
- 3 2018年1月から新県庁舎での業務が開始
- 4 長崎～香港線就航の記者会見
- 5 2019年11月末開館に向けて整備が進む「ミライオン図書館」



2018年、印象に残った出来事は？

「平成30年7月豪雨」をはじめ、全国的に多くの自然災害が発生した一年でした。被災された皆様に、あらためてお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈りいたします。自然災害はいつどこで発生するかわかりません。本県においても、防災対策をさらに進めてまいります。

7月、念願であった「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録が実現できましたことは、県民の皆さんをはじめ多くの関係者の方々のご努力の賜物だと考えています。本当にありがとうございます。今回の登録をきっかけに、たくさんの方に構成資産を訪れていただいています。今後は、価値を伝えるガイドの育成や、資産の保存・活用に力を注ぎ、生活・信仰と観光の調和のとれたまちづくりを目指してまいります。

県民の皆さんの生活の基盤となる道路については、西九州自動車道が、12月に松浦インターまでの供用を開始し、伊万里松浦道路の県内区間が完成しました。そのほか、島原道路や九州横断自動車道などの整備も着実に進んでいます。

九州新幹線西九州ルートは、フリーゲージトレインの導入が断念されたため、新鳥栖～武雄温泉間は、時間短縮など

人口減少の主な要因として、進学や就職を機に多くの若者が県外へ流出していることが挙げられます。ふるさと長崎で働くことの良さや意義について、学生や保護者をはじめ県民の皆さんに広く知っていただき、多くの若者に県内で就職していただけるよう取り組んでまいります。

一方、昨年は、相談窓口を介した本県へのUイーターナーの数が、過去最多となったという大変嬉しいニュースもありました。今後は、Uイーターナーの皆さんの就業や創業・事業承継を支援するなど、都市部から地域の担い手となる人材を呼び込む施策にさらに力を注いでまいります。

また、平成29年の本県の合計特殊出生率は1.70と全国4位の水準となりました。今後は、婚活サポートセンターなどの結婚支援策に加え、職縁結婚の活性化を図ります。また、育児支援の充実、保育人材の確保などにも取り組み、安心して結婚や出産、子育てができる環境を整備してまいります。

その他の取り組みについて教えてください

今年開催されるラグビーワールドカップでは、長崎市でスコットランド、島原市でトンガのチームがキャンプを行う予定です。来年の東京オリンピック・パラリンピック

整備効果の高いフル規格による整備が必要と考えています。佐賀県の理解を得るためにも、国において、地元負担の軽減などについてできる限り早急に結論を出し、整備を進めていただきたいと考えており、引き続き、本県選出国会議員や県議会の皆様、関係自治体等と連携を図りながら、フル規格での整備実現に向け、全力で取り組んでまいります。

スポーツの分野では、8月のアジア競技大会において、男子マラソンで井上大仁選手が金メダル、女子マラソンで野上恵子選手が銀メダルに輝くなど、本県選手の皆さんの活躍は、私たちに夢と感動を与えてくれました。

「V・ファアレン長崎」は、残念ながらJ2に降格してしまいましたが、必ず1年でJ1に復帰していただけるものと期待しています。皆さん、今年もスタジアムでの熱い応援をよろしく願います。

新県庁舎での業務が始まって1年になります。今後も、この県庁舎を県民の皆さんと行政との新しい連携・協働の拠点として活用していきたいと考えています。

2019年の抱負を教えてください

今年、人口減少対策を最重要課題と位置づけ、重点的に進めてまいります。

についてもキャンプ誘致に取り組んでいます。これらの機会を通して、本県の魅力を幅広く発信し、国内外からの誘客を促進して、交流人口の拡大につなげてまいります。

1月19日からは、長崎空港の新たな国際定期航空路線として、上海線とソウル線に加え、香港線が就航します。これを契機に、アジアを中心とした海外からの誘客に弾みがつき、本県経済の活性化につながるものと期待しています。

また、IRの誘致が実現すると、設備投資等による経済への波及や、国内外からの交流人口の増加など、大きな効果が期待されます。今後は、本県がIR区域として認定されるよう全力を注いでまいります。そして現在、県と大村市で整備を進めている一体型図書館は、愛称を「ミライオン図書館」として、今年11月末までの開館を目指しています。開館を楽しみにお待ちしております。

県民の皆さんへメッセージをお願いします

今年も、ふるさと長崎が抱える課題の解決に全力で取り組んでまいります。いずれの取り組みにおいても、県民の皆さんのご理解とご協力が欠かせませんので、引き続きご支援をお願いします。